

「落語展～ひとつおつきあいを願います」の開催について

町田市民文学館ことばらんど冬期展覧会は落語をテーマにした展覧会を開催します。

たった一人で舞台上に上がり、扇子と手ぬぐいだけで何人もの人々を演じ分け、滑稽なお話で観客を笑わせる落語。江戸時代に花開いた落語は今日まで“話芸”として受け継がれ、寄席だけではなくテレビやラジオなどでも楽しめる身近な芸能として親しまれてきました。中でも名作落語とよばれる演目は、師匠から弟子へ口伝えに教えられ、その時々の人々によって磨かれて今に伝わっているものです。こうした芸の継承からは落語家たちの様々な苦悩や葛藤が生まれ、それらがテーマとなり漫画やドラマ、小説などの新たな物語が生み出され、高い人気を得ています。

本展では、『昭和元禄落語心中』（講談社「BE・LOVE」）を幕開けに、落語の魅力や知識に触れるとともに、今も語り継がれる名作落語の中から選りすぐりのものをご紹介します。本展を通して落語の楽しみ方を見つけていただき、その後は“ひとつおつきあいを願います”落語を聞きに寄席やホールに足をお運びいただければと思います。

1 開催概要

開催期間：2025年1月18日（土）～3月23日（日）

休館日：毎週月曜日（ただし2月24日は開館）、2月13日（木）、3月13日（木）

観覧時間：10時から17時

観覧料：無料

協力：講談社「BE・LOVE」、渋谷らくご（ユーロライブ）

2 広報

『広報まちだ』、『生涯学習 NAVI』、町田市公式ホームページ、ポスター・チラシ、SNS等

3 関連イベント

① 落語会

- ・「柳亭信楽新作落語会」

開催日時：2月2日（日）14:00～

- ・「柳亭小痴楽落語会」

開催日時：3月1日（土）18:30～

② 講演会

- ・今すぐ落語がみたくなる鑑賞術

開催日時：2月9日（日）14:00～15:30

③ ワークショップ

- ・寄席文字を書いてみよう！橘流寄席文字体験講座

開催日時：2月22日（土）13:30～15:30

④ 展示解説

開催日時：1月18日（土）、2月5日（水）、3月23日（日）
14:00～（30分程度）

落語展

関連イベント

落語会

柳亭信楽新作落語会

現代を舞台にした独創的な新作落語で注目されている柳亭信楽。日常に潜む笑いの世界をのぞいてみませんか？

【日時】2025年2月2日(日)14:00—(13:30開場)
 【出演】柳亭信楽 【会場】町田市民文学館 2階大会議室
 【対象】どなたでも 【定員】80名(申込順)
 【申込方法】2025年1月8日(水)正午から1月30日(木)まで
 イベントダイヤル(042-724-5656)
 またはイベシスで受付(イベントコード: 250108A-A)

落語会

柳亭小痴楽落語会

本展のアドバイザーであり、今を時めく若手落語家・柳亭小痴楽による、本展覧会のための特別な落語会を開催します。軽快な笑と滑稽なキャラクターたちが躍動する落語をぜひお楽しみください。

【日時】2025年3月1日(土)18:30—(18:00開場)
 【出演】柳亭小痴楽 【会場】町田市民フォーラム 3階ホール
 【対象】どなたでも 【定員】180名(申込順)
 【申込方法】2025年2月7日(金)正午から2月26日(水)まで
 イベントダイヤル(042-724-5656)
 またはイベシスで受付(イベントコード: 250207A-A)

講演会

今すぐ落語がみたくなる鑑賞術!

落語とはそもそもどうやって楽しむべきなのか？
 “初心者でも楽しめる”落語会を目指し、老若の街・渋谷で開催されている「渋谷らくご」の制作担当である佐藤紫衣那氏から、気軽に落語を楽しむ秘訣を教わります。

【日時】2025年2月9日(日)14:00—15:30(13:30開場)
 【講師】佐藤紫衣那 【会場】町田市民文学館 2階大会議室
 【対象】どなたでも 【定員】80名(申込順)
 【申込方法】2025年1月8日(水)正午から2月6日(木)まで
 イベントダイヤル(042-724-5656)
 またはイベシスで受付(イベントコード: 250108B-A)

ワークショップ

寄席文字を書いてみよう! 橋流寄席文字体験講座

「寄席文字」は文字を寄席に見立て、空席(白い余白)が少なくなるよう太く詰め気味に書かれる縁起文字です。初心者の方も大歓迎!

【日時】2025年2月22日(土)13:30—15:30(13:00受付)
 【講師】橋右雀(橋流寄席文字書家) 【会場】町田市民文学館 2階大会議室
 【対象】中学生以上の一般 【定員】15名
 【参加費(材料費)】一人1,500円
 【申込方法】2025年1月17日(金)正午から
 文学館へ直接TEL(042-739-3420)

展示 1月18日(土)、2月5日(水)、3月23日(日)
 ※いずれも14:00~(30分程度)
解説 申込不要。直接2階展示室にお越しください。

たった一人で舞台上がり、扇子と手ぬぐいだけで何人もの人々を演じ分け、滑稽なお話を観客を笑わせる落語。江戸時代に花開いた落語は今日まで、「話芸」として受け継がれ、寄席だけではなくテレビやラジオなどでも楽しめる身近な芸能として親しまれてきました。落語のお話には、江戸時代の街並みを舞台に繰り広げられる人間模様を描かれ、その日常に潜むおかしさには現代の私たちが共感できるものが多くあります。中でも名作落語とよばれる演目は、師匠から弟子へ口伝えに教えられ、その時々の人々によって磨かれて今に伝わっているものです。こうした芸の継承からは落語家たちの様々な苦悩や葛藤が生まれ、それらがテーマとなり漫画やドラマ、小説などの新たな物語が生み出され、高い人気を得ています。

本展では、「昭和元祿落語心中」(講談社(BE・LOVE))を幕開けに、落語の魅力や知識に触れるとともに、今も語り継がれる名作落語の中から選りすぐりのものをご紹介いたします。本展を通して落語の楽しみ方を見つけていただき、その後は、ひとつおつきあいを願ひまして、落語を聞きにぜひ寄席やホールに足をお運びください。

1988年、五代目柳亭痴楽の次男として東京に生まれる。
 2005年に二代目桂平治(現:桂文治)へ入門し「桂ち太郎」を襲名して初高座へ。2008年、父・痴楽の門下に移り「柳亭ち太郎」と改めるも、翌年痴楽がこの世を去る。痴楽の弟弟子・柳亭楽輔の門下となり、2009年11月二つ目に昇進、「三代目柳亭小痴楽」を襲名。2013年から若手場家集団「成金」を結成し活躍。2019年、真打昇進。現在は、ラジオのパーソナリティや「渋谷らくご」などを通じて落語の普及に努めている。



柳亭小痴楽
 柳亭小痴楽

町田市民文学館ことばらんど

〒194-0013 東京都町田市原町田4-16-17
 TEL:042-739-3420 FAX:042-739-3421
 JR横線町田駅ターミナル口から徒歩8分
 小田急線町田駅東口から徒歩12分
 @machida_kotobaで最新情報発信中



ぜひお楽しみください